

意外と身近な依存症

参加費
無料

講師

事前申し込み
が必要です。



さいとう あきよし

齊藤 章佳

(大船榎本クリニック精神保健福祉部長)

まるやま やすひろ

丸山 泰弘

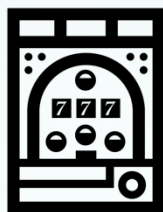
(立正大学法学部法学科教授)

タバコ、ギャンブル、アルコール、ゲーム、買い物、インターネットなど、ご自身や皆さんの周りで、『これって依存症?』と気になることはありませんか?

依存症とはどのような病気なのか? 回復や予防方法は? 基本的な事から最新の動向まで分かりやすくお話いただきます。



- ライブ配信サービス「YouTube Live」を使用します。スマートフォンの場合は「YouTube」アプリをダウンロードし、正常に動作することをご確認ください。
- 通信の状況により音声・映像の乱れが生じたり、聞き取りにくくなったりする場合があります。ご了承ください。



参加申込QRコード

日時 2021年7月3日(土)

時間 14時~16時(生放送)

会場 オンライン(ライブ配信サービス「YouTube Live」)

主催 社会を明るくする運動 馬込・池上・新井宿地区推進委員会

協力 山王三・四丁目自治会 堤方4306 おおたTSネット おおた社会福祉士会

お申し込み・お問い合わせについては、裏面もご覧ください。





さいとう あきよし

斉藤 章佳

大船榎本クリニック
精神保健福祉部長

1979年生まれ。精神保健福祉士・社会福祉士。ソーシャルワーカーとして、ギャンブル・薬物依存、摂食障害、性犯罪、児童虐待、DV、クレプトマニア(窃盗症)などアディクションの問題に携わる。専門は加害者臨床。著書に「男が痴漢になる理由」(イースト・プレス、2017年)、「万引き依存症」(イースト・プレス、2018年)、「『小児性愛』という病ーそれは愛ではない」(ブックマン社、2019年)、「しくじらない飲み方 酒に逃げずに生きるには」(集英社、2020年)、「セックス依存症」(幻冬舎新書、2020年)。監修に、津島隆太「セックス依存症になりました。」(集英社、2020年)。共著に、神林美樹・斉藤章佳・菅原直美・中原潤一・林大悟・丸山泰弘「行為依存と刑事弁護-性依存-窃盗症などの弁護活動と治療プログラム」(日本加除出版、2021年)など。



まるやま やすひろ

丸山 泰弘

立正大学法学部法学科教授

1980年生まれ。京都出身。研究分野は、刑事法、刑事政策、犯罪学、薬物政策、ドラッグ・コート、ハーム・リダクション、治療的司法、司法福祉など。2017年ロンドン大学バーベック校・客員研究員、2018~2020年カリフォルニア大学バークレー校・客員研究員。著書に「刑事司法における薬物依存治療プログラムの意義~『回復』をめぐる権利と義務~」(日本評論社、2015年)。共著に「刑事裁判における人間行動科学の寄与~情状鑑定と判決前調査~」(日本評論社、2018)、「刑事司法と福祉をつなぐ」(成文堂、2015)、神林美樹・斉藤章佳・菅原直美・中原潤一・林大悟・丸山泰弘「行為依存と刑事弁護-性依存-窃盗症などの弁護活動と治療プログラム」(日本加除出版、2021年)など。

参加ご希望の方は、QRコードあるいは下記項目をご記入いただき、メールまたはFAXにて事務局までご連絡ください。

※メールアドレスが必須ですので、間違いのないようQRコードかメールでの参加申込を推奨いたします。

ふりがな
氏名

メールアドレス

参加申込
QRコード



ご所属 (大田区内在住・在勤の方)

以下の機関・団体に「所属されている方」は該当する機関・団体に○を入れてください。(複数選択可)

区職員、区教育委員会、警察、大田区保護司会、桐友会、自治会・町会
青少対、民児協、医師会、歯科医師会、薬剤師会、更女、母の会、婦団連
保護観察協会、防犯協会、BBS会、社協、PTA(小・中)、校長会(小・中・退職)
私立幼稚園連、商店街連、薬物乱用防止、大森少せ、おおた社福、おおたTS

上記以外 (大田区外の方を含む) ※保護司の方はぜひ保護司会名をお書きください。

■お申し込み・お問い合わせ■

社会を明るくする運動
馬込・池上・新井宿地区
推進委員会事務局(担当:生駒)

メール ota.ts2020@gmail.com
FAX 03-3774-2955
電話 090-2147-7073

■ 収集した個人情報は本イベント事務手続きにのみ使用し、それ以外の目的に一切使用いたしません。

ご案内

イベント当日の報告記事や録画(アーカイブ)は、下記サイトでもご覧いただけるようになります。

大田区保護司会
ホームページ



大田区
チャンネル



大田区ホームページ
「第71回“社会を明るく
する運動”~犯罪や非行を
防止し、立ち直り支える地
域のチカラ~について」

